

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/20 （4/13との比較）	4/20 （4/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.34% （+0.09）	84.38円 （▲0.90%）	+2.9% 2017年4Q	1.25%	発表されたCPI（消費者物価指数）や小売売上高が市場予想を下回ったことなどから、中銀の利上げ時期が年後半に後ずれするとの思惑が広まり、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で下落。	卸売売上高や鉱工業製品価格などの発表を予定。原油価格の動向に左右されやすいことなどから、原油価格の推移には注意が必要。また中銀総裁が議会証言で前週分のMPR（金融政策報告書）の要点を公表予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.58% （▲0.13）	31.54円 （+0.55%）	+2.1% 2017年4Q	6.50%	主要な経済イベントはなかったものの、引き続き政治においては、大統領選挙の世論調査で本命ルラ氏が依然として支持率1位。選挙への不透明感が後退したとの見方が広がり、国債利回りは低下。レアルは対円で上昇。	引き続き重要な経済指標等の発表が無く、財政改革と政治リスクの動向が主な変動要因となると見込む。米国の保護主義の動きを受けて、ブラジルレアルは上値が重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.33% （+0.12）	5.81円 （▲2.34%）	+1.5% 2017年4Q	7.50%	EU（欧州連合）とのFTA（自由貿易協定）が大筋合意と伝わったことは、米国への依存度を低下させるうえで好材料。大統領選挙の行方も注目を集める中、米国の動きにつれて、国債利回りは上昇。ペソは対円で下落。	小売売上高や貿易収支などの発表を予定。NAFTA（北米自由貿易協定）や大統領選挙をめぐる動きが注目される中、債券・為替市場はレンジ内での推移を想定するが、米国金利動向には要注意。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/20 （4/13との比較） 今後の見通し （※4）	4/20 （4/13との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.81% （+0.07）	82.60円 （▲0.92%）	+2.4% 2017年4Q	1.50%	発表された雇用統計で雇用者数が市場予想を大幅に下回ったことなどから、投資家の失望を誘う売りが先行し、国債利回りは上昇。資源価格の回復などから概ねレンジで推移したものの、豪ドルは対円で下落。	CPIなどの発表を予定。中銀のインフレ目標をわずかに下回るものの、概ね安定し底堅い推移を予想。中国経済の軟化や足元の鉄鉱石価格等には引き続き注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.87% （+0.04）	77.58円 （▲1.83%）	+2.9% 2017年4Q	1.75%	CPIは市場予想を若干上回り、食料品価格も前回比で強めの結果となったものの、相場への影響は限定的。世界的な利回り上昇の影響から、国債利回りは上昇。ニュージーランドドルは対円で下落。	インフレ統計の結果は中銀の目標の下限に近い結果となる中、政策金利は当面据え置かれるものと想定。貿易統計や消費者信頼感指数などが発表予定であるものの、引き続き海外市場の影響を受けやすい展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.88% （+0.06）	13.76円 （▲0.39%）	+1.4% 2017年4Q	0.50%	原油価格は堅調な推移となる一方で、貿易収支や住宅価格指数、鉱工業信頼感指数などの経済指標は総じて弱めの内容。強弱材料ある中、ノルウェークローネは対円で下落。海外市場の影響などから、国債利回りは上昇。	足元での原油価格の堅調な推移は、ノルウェークローネの支援材料だが、反転下落するリスクには注意が必要。失業率は低位安定を示す可能性があり、底堅い経済環境を持続する可能性。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/20 （4/13との比較）	4/20 （4/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.52% （+0.00）	8.93円 （+0.58%）	+1.5% 2017年4Q	6.50%	CPIは市場予想を下回る一方で、小売売上高は前回分を上回る内容。利上げ観測は大きく台頭しておらず、構造改革への期待も残る中、ランドは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	特段重要な経済指標等の発表はなし。政治改革の更なる進展などが期待されるものの、南アフリカ固有の材料には乏しい中、米金利上昇も警戒されることなどから債券・為替共に上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.19% （+0.17）	0.77円 （▲0.74%）	+5.2% 2017年4Q	4.25%	中銀は政策金利の据え置きを決定し、利上げの可能性について慎重な見方を示唆。ただし、米国での大幅な金利上昇を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、ルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。マーケット全体のセンチメントや、米国など海外の材料に影響を受けやすい展開が予想される中、足元のルピアは軟調に推移しており底堅い推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.69% （+0.29）	1.63円 （▲1.08%）	+7.2% 2017年4Q	6.00%	中銀が公表した今月のMPC（金融政策委員会）議事要旨が予想以上にタカ派であったことや、原油価格の上昇に対する懸念などから、国債利回りは上昇。インドルピアは対円で下落。	特段重要な経済指標等の発表はなし。原油価格の上昇がインドルピアの重石となっていることから、原油価格の動向には注意が必要。また中銀のタカ派的スタンスが、国債利回りには引き続き上昇圧力が続く予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

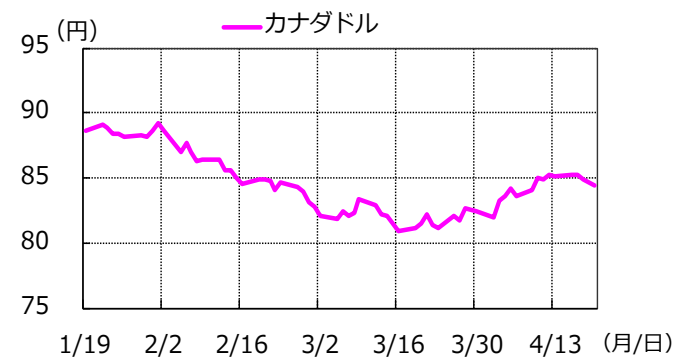
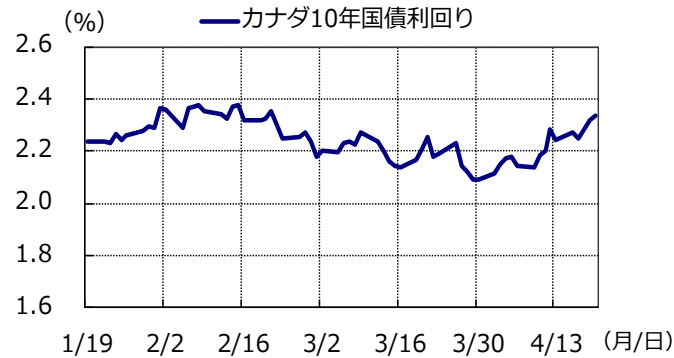
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

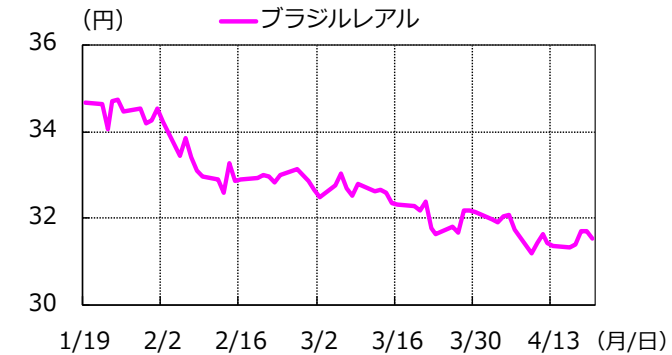
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/19～2018/4/20

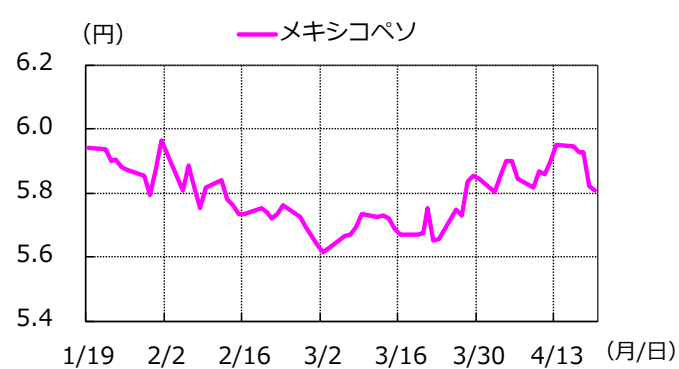
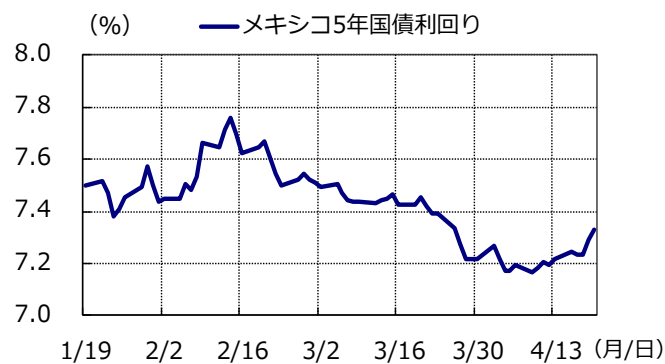
カナダ



ブラジル



メキシコ

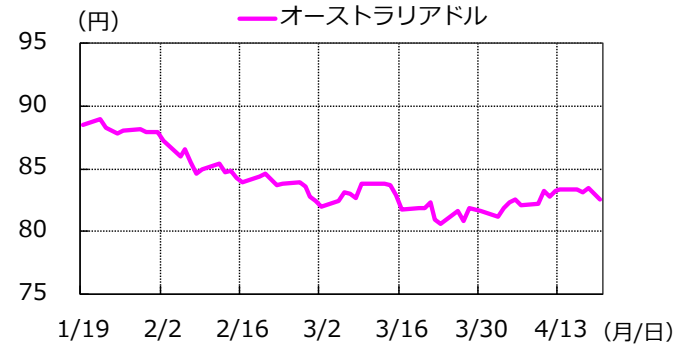
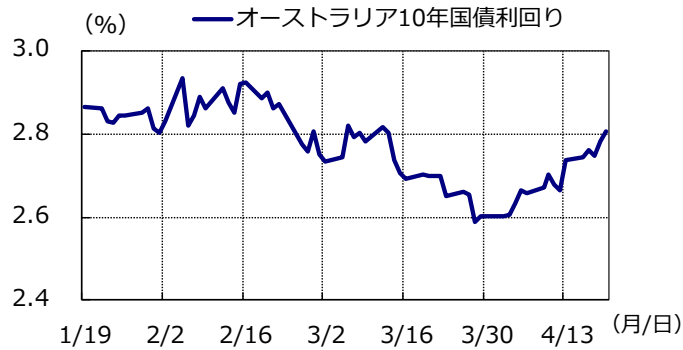


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

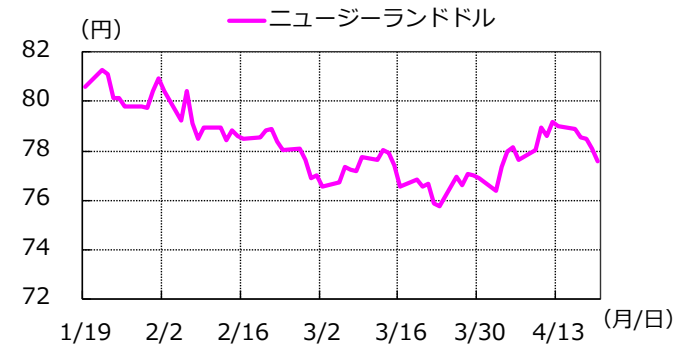
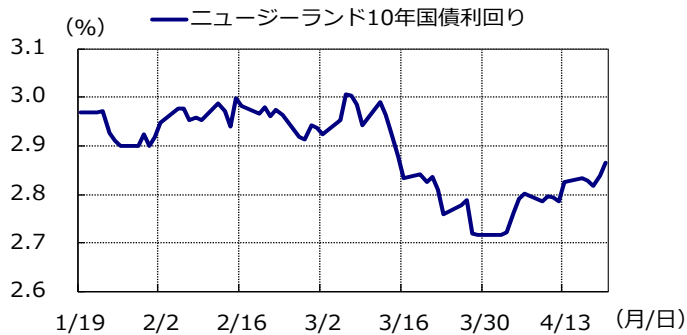
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/19～2018/4/20

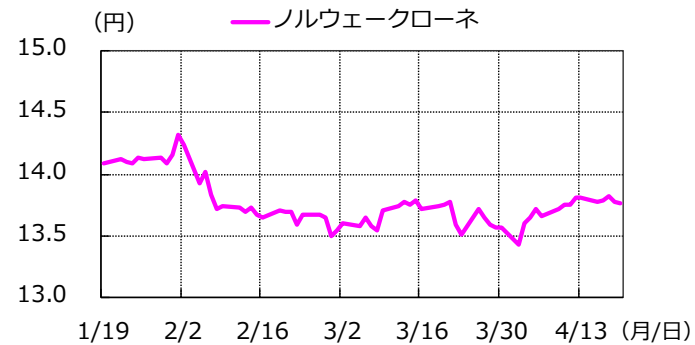
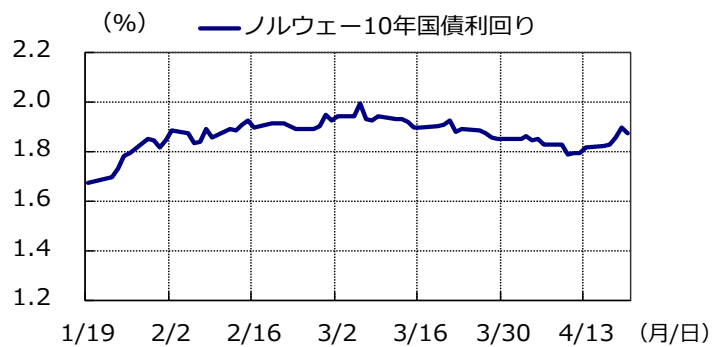
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

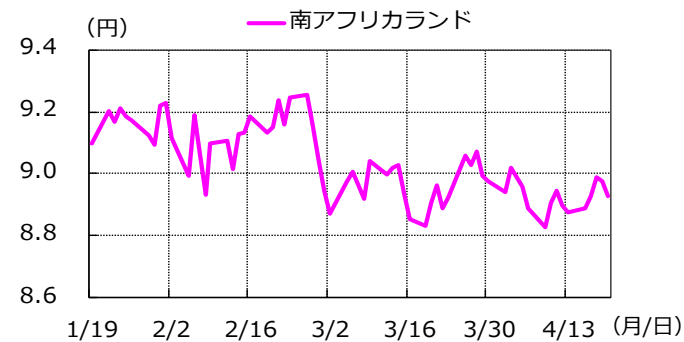


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

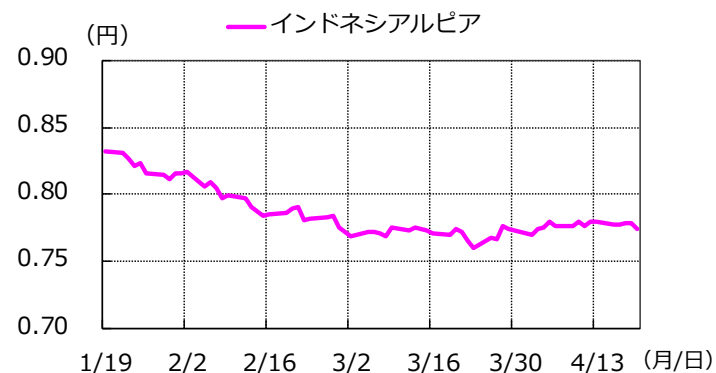
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/19～2018/4/20

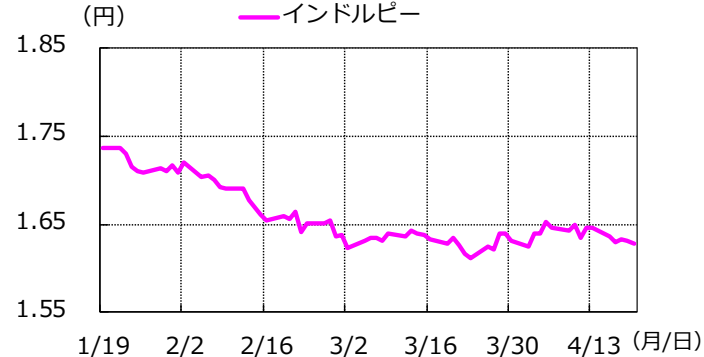
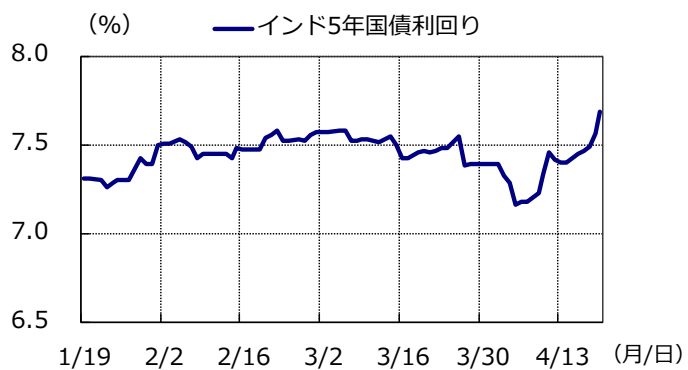
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。